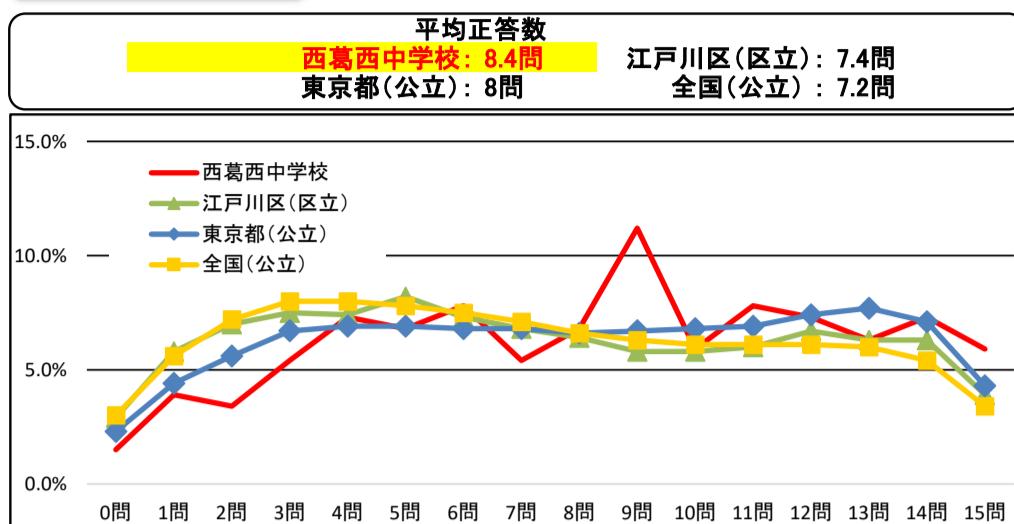
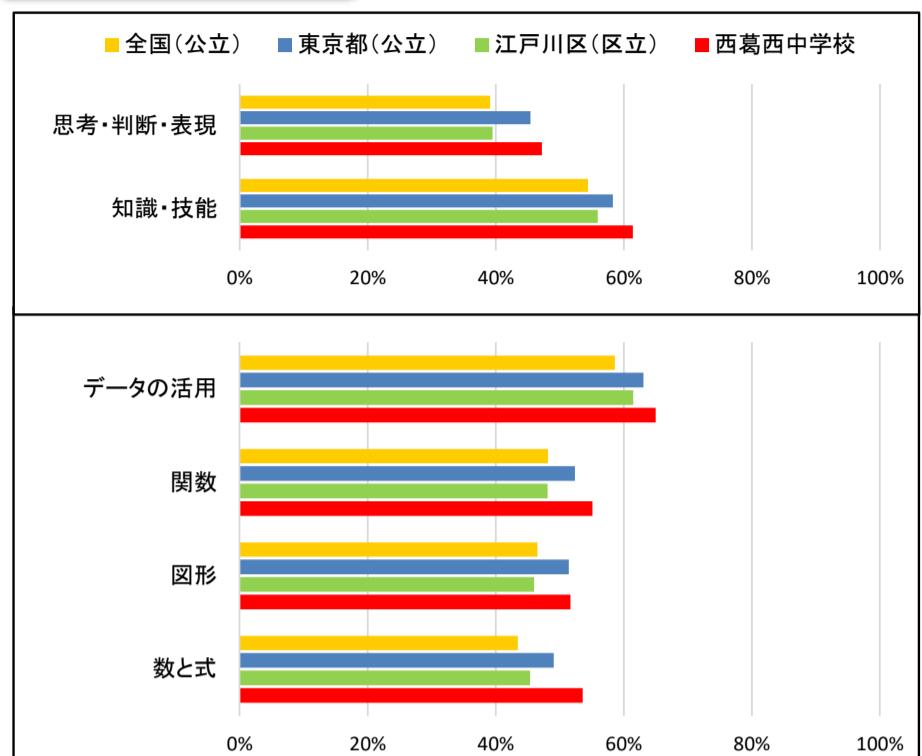


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【数学】西葛西中学校

正答数分布



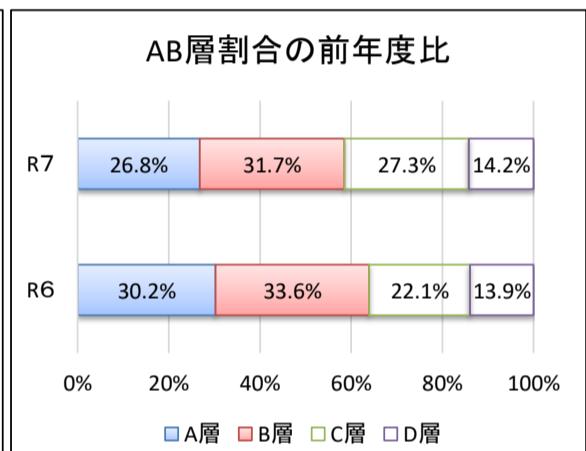
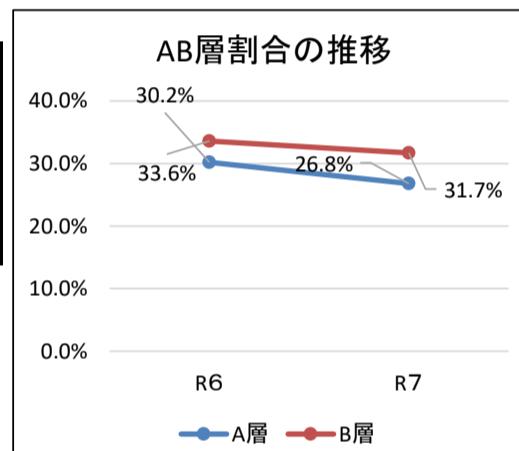
「領域別」の結果



四分位における割合 (都全体の四分位による)

数学	上位 ← → 下位			
	A層	B層	C層	D層
西葛西中学校	26.8%	31.7%	27.3%	14.2%
江戸川区(区立)	23.2%	24.0%	29.6%	23.2%
東京都(公立)	26.5%	27.0%	27.5%	19.0%
全国(公立)	20.9%	25.1%	30.2%	23.8%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。

《現状把握》
●AB層の割合と取組内容について
R6とR7の比較
A層 -3.4% B層 -1.9%

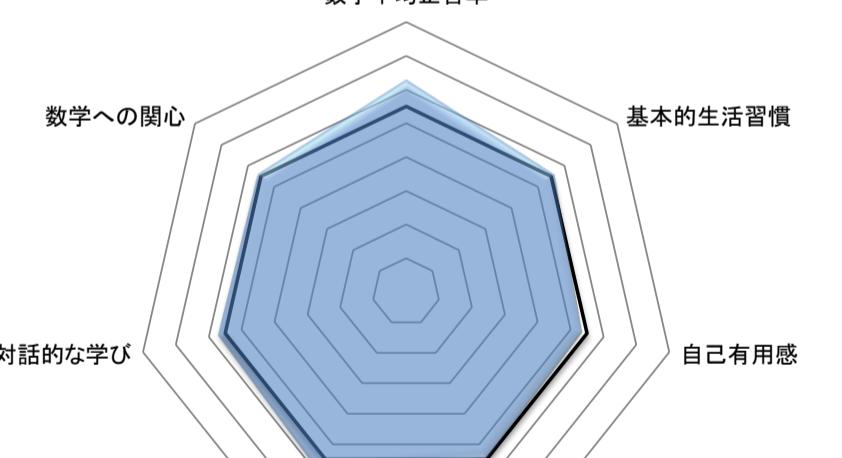
《学校の取組》
・教員の指導力向上
・ICT機器の効果的な活用
・授業見学などの研修

・基礎学力の保障
・計算コンテストの実施
・毎授業における小テストの実施

・学習習慣の確立
・毎授業提出の課題
・週末課題の設定

・AB層の育成
・基礎基本の徹底。計算コンテストなどを行う
・「主体的で深い学び」の授業増加

数学平均正答率



《チャートの特徴》

「数学平均正答率」と「主体的な学び」については全国平均を上回った。「自己有用感」については少し下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

自己有用感は他者からの評価や承認が必要不可欠なので、家庭や地域へ「褒める」教育の必要性を呼びかける。学校と地域両方で「褒める」教育をしていくよう心がける。